



SUPPORTERS CLUB NEWS  
**友の会 会報**  
TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501  
青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94  
七戸町立鷹山宇一記念美術館内  
鷹山宇一記念美術館友の会  
TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860

貸借対照表

平成12年3月31日現在 単位円

資産勘定		負債・繰越金勘定	
科目	金額	科目	金額
現金	28,520	前受会費	999,000
預金	2,125,650	12年度分	990,000
青森・七戸	1,127,720	13年度以降分	9,000
七戸郵便局	497,930	未払費用	30,520
鷹山宇一記念美術館	500,000	小計	1,029,520
前払費用	5,460	絵画購入積立金	500,000
		前期繰越金	375,676
		当期剰余金	254,434
		小計	1,130,110
合計	2,159,630	合計	2,159,630

収支決算書

平成11年4月1日～平成12年3月31日

支出		収入	
科目	金額	科目	金額
事業費	1,164,739	会費収入	1,695,000
助成金	755,000	寄付金収入	5,569
会報発行費	244,753	雑収入	1,275
研修費	135,000		
雑費	30,000		
事務費	282,671		
会議費	0		
印刷費	29,800		
通信費	208,740		
諸手数料	8,330		
事務用品費	11,971		
慶弔費	5,000		
雑費	18,830		
小計	1,447,410	小計	1,701,844
当期剰余金	254,434		
合計	1,701,844	合計	1,701,844

事業報告

1. 展覧会等監視ボランティア活動
  - ① 平山郁夫展(4/29～5/30)  
参加人数・延べ159名
  - ② 青森県/美術館L'art展(9/11～10/11)  
参加人数・延べ25名
2. 研修旅行
  - ① 岩手県/アリア民族と琥珀の旅  
(アリア民族造形館と久慈琥珀館ほか)  
7/25(日)日帰り・16名参加
  - ② スイ・パリの美術紀行(初の海外研修旅行)  
H12.1/19～1/29の11日間・28名参加
3. 会報の発行  
第15,16,17,18号、臨時号計5回発行
4. 美術講演会  
H11.6.6通常総会後実施(26名参加)  
演題「棟方志功の世界」  
講師(財)棟方志功記念館  
館長 福井平内氏
5. 絵画教室  
美術館との共催により年10回開催し、  
その成果を七戸町文化まつりに展示した。参加者11名
6. 絵画購入積立金  
平成10年度剰余金処分により20万円を  
増し、累計は50万円となりました。

議案第1号 H11年度事業報告並びに貸借対照表・収支決算書承認の件

鷹山宇一記念美術館友の会  
平成12年度通常総会並びに美術講演会(6/3)

「報 告」

平成12年度の通常総会が、6月3日(土)午後1時から美術館2階工房において開催され、全議案原案どおりに承認されました。また、通常総会終了後の午後2時30分から、当会主催による美術講演会を同会場において開催いたしました。本紙面をもちまして報告にかえさせていただきます。

「議案第2号」  
H11年度剰余金処分案承認の件

収支予算書(案)

自:平成12年4月1日～至:平成13年3月31日 単位:円

収入の部

科目	内訳科目	金額	摘要
前期繰越金		330,110	
会費	会費収入	1,700,000	法人会員 25社 500,000 特別会員 75人 750,000 一般会員 150人 450,000
雑収入	預金利息他	1,000	普通預金、定期預金利息
収入合計		2,031,110	

支出の部

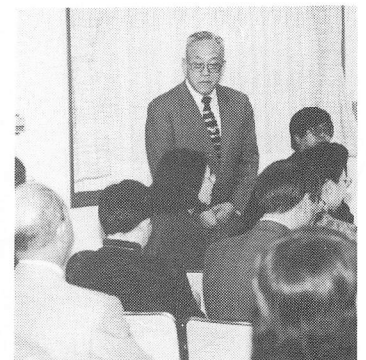
科目	内訳科目	金額	摘要
事業費		1,140,000	
	助成金	710,000	法人会員 230,000 特別会員 330,000 一般会員 150,000
	会報発行費	230,000	会報印刷費、取材費
	図書研究費	90,000	映像作品購入費
	研修費	80,000	研修費、美術講演会費
	雑費	30,000	新入社員研修費
事務費		291,100	
	会議費	10,000	総会、役員会
	通信費	230,000	会報送付費 その他
	印刷費	1,100	振替用紙印刷費
	事務用品費	10,000	事務用品
	諸手数料	10,000	郵便局振替手数料
	慶弔費	20,000	祝儀、香典
	雑費	10,000	その他
支出合計		1,431,100	
予備費		600,010	前期繰越金 330,110 当期剰余金 269,900
合計		2,031,110	

事業計画(案)

1. 展覧会等監視ボランティア活動
  - ① 春季二科展(4/29～5/28)
  - ② 青森県/美術館L'art展(7/1～7/9)
  - ③ 手塚治虫の世界展(7/20～8/31)
  - ④ 国際写真サロン展(11/18～12/3)
  - ⑤ 鷹山宇一展(12/9～)
2. 研修旅行
  - ① 仙台市 宮城県美術館、佐藤忠良記念館、芹沢銈介美術館  
※日時/平成12年5月14日(日)
  - ② 青森市 県立郷土館、稽古館、棟方志功記念館ほか  
※日時/平成12年9月中旬
3. 会報の発行  
年4回 第19号～第22号
4. 美術講演会  
通常総会終了後
5. 資金の積立  
毎年度終了後に剰余金が生じた場合、友の会の運営に支障の無い範囲で次の通り積み立てする。
  - ① 美術館が鷹山宇一先生の絵画を購入するための援助資金
  - ② 友の会創立10周年記念行事のための資金

議案第3号 H11年度事業計画並びに収支予算案承認の件

- 1 当期末未処分剰余金  
前期繰越金 375,676 円  
当期剰余金 254,434  
計 630,110
- 2 次の通り処分したい  
絵画購入積立金 200,000  
別途積立金 100,000  
(10周年記念事業積立金)  
次期繰越金 330,110  
計 630,110
- 3 絵画購入積立金の累計は70万円となります。



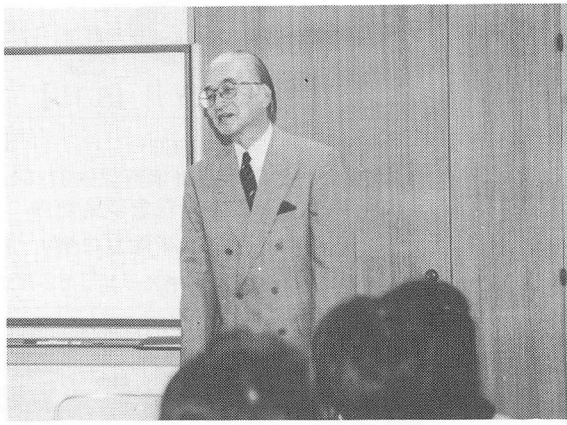
総会にて

■議案第4号■任期満了に伴う理事監事改選の件

～任期は平成12年度、13年度～

会 長	山本 洋一	(再 任)
副会長	奥山 雅子	( " )
理 事	盛田 駿造	( " )
"	盛田 恵津子	( " )
"	石田 清剛	( " )
"	下山 恭美子	( " )
"	奥山 洋一	( " )
"	盛田 隆造	( " )
"	戸舘 栄一	(新 任)
"	川村 美奈子	(新 任)
監 事	米内山 正義	(新 任)
"	野田 幸子	(新 任)

■ご講演いただいた佐々木社長



友の会主催・美術講演会を開催しました(6/3)

『私が出会ったアーティストたち』

■講 師■

(株)東奥日報社代表取締役社長 佐々木 高雄 氏

総会の後、佐々木社長を講師にお招きして、2時30分～4時30分までの2時間たっぷりお話を伺いました。美術記者時代のお話を中心に、沢山の著名な画家とのエピソード、アメリカの美術館ボランティアの話、ご自身がこれからリタイヤされた後のこと、アフリカ文化の話、今、東奥日報社主催で企画した『秦の始皇帝と兵馬俑展』の経緯などをお話してくださいました。沢山の方々には是非聞いていただきたい内容で、時間の経つのも忘れ聞き惚れていました。詳しくは次号からご紹介いたします。



■総会にて

友の会研修旅行(仙台)

去る5月14日(日)、日帰りの強行スケジュールでしたが、杜の都・仙台での研修旅行が開催されました。総勢13名による、東北福祉大学芹沢銈介美術館、宮城県美術館での美術鑑賞の旅です。

友の会研修旅行に参加して

葛西 禎子

友の会研修旅行参加者の常連ということで、感想の執筆を依頼され戸惑っています。

今回は、宮城県美術館と芹沢銈介美術館の展示作品の鑑賞です。参加者は少なかつたのですが、仙台まで特急↓新幹線と乗り継ぎ、車中は和気藹々としていました。

芹沢銈介記念館では、緋のコレクションを展示していて、インド、インドネシア、中央アジアなどの緋の色彩と文様の美しさ、そして、芹沢銈介の斬新でしつかりとした染色作品に見とれました。

宮城県美術館では、「TOHOKU/TOKYO 1945年ー1945 東北の画家たち」というテーマの作品展示でした。昭和戦前期という時代背景の中で、地方から上京した画家たちは、刺激を受け合いながら、そして、美術への思いがとて強かつたのではないかと感じられました。また、県人画家の若い頃の作品に触れることができ、良かったと思います。

美術館と隣接して佐藤忠良記念館があり、洗練された彫刻が美しいと思いました。

美術館内は、ゆつたりとした空間があり落ち着けましたし、屋外は緑に囲まれ、庭の横を広瀬川がゆつたりと流れていて、心が安らぎ、雑踏を忘れさせてくれました。

参加者の中に、学生時代の同級生で、現在七戸町と仙台市に住んでいらつしやる方が、今回連絡を取り合い、55年振りに再会できた嬉しそうなお二方を拝見して、皆、心が和みました。

とても有意義な1日を過ごすことができ、ありがとうございました。拙い感想文で終わってしまいましたが、次回の研修旅行も参加したいと思っています。

■芹沢銈介美術館工芸館前で記念撮影





# 春季二科展から Report!!

会期中3,887人の皆様にご入館いただき、二科会諸先生方の作品に親しんでいただきました。

4月28日(金)開催のオープニング・レセプションでは、(社)二科会を代表してお出掛け下さった西野嘉齋先生、そして、二科会青森支部を代表して支部長・安田勝子さんよりご挨拶を頂戴しております。ここでご紹介いたします。

社団法人二科会理事・絵画部会員

西野 嘉齋 先生

皆様のご尽力によりまして、また今年も展覧会が催されましたこと、誠に有り難うございます。

春季展は昨年、銀座の会場の都合で開かれませんでした。くしくもその開かれなかった年に、当館のシンボルとも言える鷹山宇一先生がお亡くなりになりました。誠に痛恨の極みでございます。

鷹山先生は、非常に反骨精神、直情の方で、厳しい先生だと私も承っております。ですから、残された作品、花と蝶を非常に好まれて描かれた多くの作品は、リリカルな中にも、しかし、厳しいシニールレアリスムの正道を行かれた方でございます。私たちはその真剣な、基幹をおろそかにしない描き込まれた作品に、心を打たれております。

方針もございまして、一般出品の中から選抜される方が大分多くなつてまいりました。1年、去年休んだ関係か、非常に力をためられて、いい作品が今年はそろつたような気がいたしますが、皆さんよろしくご鑑賞下さい。本日はいろいろお骨折りいただきまして有り難うございます。

二科会青森支部支部長

・二科会絵画部会友

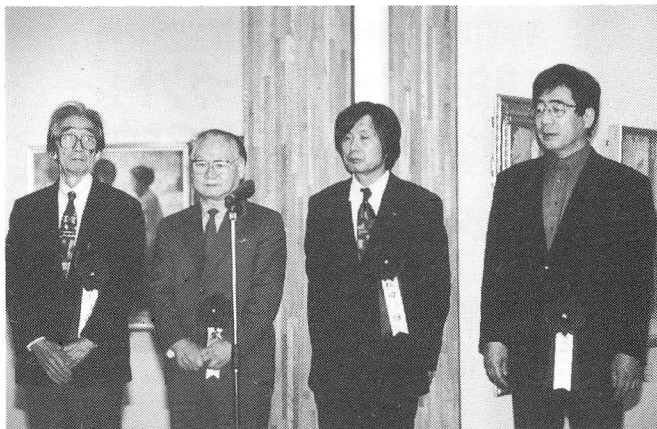
安田 勝子 さん

七戸春季二科展開催おめでとうでございます。

昨年9月、青森支部長を拝任いたしました安田でございます。右も左も分からない一主婦でございますので、何かと皆様にはご迷惑をお掛けすることと思ひます。お引き回しの上ご指導をよろしくお願い申し上げます。

現在、青森支部では身近に指導を仰げる先生がおりませんので、各自独学で制作に励んでおります。

この春季展において、中央で活躍の諸先生方に直接のご指導を仰ぐことの喜びと幸せに、ただただ感謝の気持ちでいっばいです。また、このような機会を与えて下さった鷹山宇一記念美術館と、七戸の皆様方に心よりお礼を申し上げます。本当に有り難うございます。



■春季二科展開催に当たりお出掛け下さった二科会の先生方。  
左から絵画部会員・西野嘉西先生、栗山淳先生、松田朝旭先生、彫刻部会員・豊田晴彦先生。

この春季展は、そういう意味で先生が亡くなられてから最初の展覧会でございますので、何か追悼の春季展のようないな気がいたします。なお、春季展を振り返りますと、若い人を育てる、そういう会の

## 会期中の5/21(日)入館者10万人を突破

10万人目となった大里聡さんには、無期限の当館入館フリーパスカードと、鷹山宇一先生の銅版画を記念品としてプレゼントさせていただきました。



■10万人目となった大里さん

記念すべき10万人目となった大里さんは、茨城県出身の北里大学生。春季二科展が開催されることにご来館くださったっていたそうで、この日も美術部のお仲間とご来館。「学生最後の年に素晴らしい思い出ができました。」と、喜んでいただけましたようです。またのご来館を心からお待ちしております。

## 美術館日誌より

### 【3月】

●遠野物語語り部細越雅子氏来館 (9日)

●七彩会開催(12日)

●火曜サロン開催(14日)

●篠沢秀夫教授来館(16日)

●平成12年第1回理事会・評議員会開催 12年度の事業計画案、収支予算案等が審議され原案どおり承認される(19日)

### 【4月】

●七彩会開催(2日)

●火曜サロン開催(11日)

●鷹山館長町保健センターで講演会(15日)

●春季二科展展示作業のため臨時休館(24、27日)

### 【5月】

●二科会西野先生、栗山先生、松田先生、吉野先生、豊田先生をお迎えして春季二科展オープニングレセプション開催(28日)

●春季二科展初日(29日)

●町立倉岡小学校15名来館(8日)

●RAB出会いふれあい生テレビに鷹山館長、大池学芸員出演(10日)

●町立七戸小学校4年生48名来館 (11日)

●上北地方教育委員会連絡協議会61名来館(18日)

●当館開館以来の入館者10万人達成(21日)

●町立西野中学校35名来館(24日)

●春季二科展最終日 臨時理事懇談会開催

●春季二科展終了にともない、常設展の展示作業のため臨時休館(29、7/2日)

# あおもりアートワンダーランド! (不思議な花園-奈良美智、橋本花を中心に)

平成12年7月1日(土)～7月9日(日)  
会期中は無休  
午前10:00～午後6:00迄  
(入館は午後5:30迄)

# 手塚治虫の世界展 ～世代を超えた夢ワールド～

平成12年7月20日(木)～8月31日(木)  
会期中は無休  
午前10:00～午後6:00迄  
(入館は午後5:30迄)

## 「不田心議かな花園」

橋本花。「花」を名に持つ青森市出身の画家は、自分に与えられた運命のままに、多くの可憐な花を描きました。彼女は、大正14年女性でしかも二十歳の学生にして帝展に入選を果たします。「花」ということばには、実に先立つ花先端という意味があります。橋本花は、まさに時代の「花」であったのです。

今回の展覧会では、彼女の絶筆「津軽風景」(1983)や大作「温室と睡蓮」(1936)をはじめ、14点の花をモチーフとした可憐な作品を展示。あわせて、鷹山宇一

の描く幻想的な花や、渡辺貞一、棟方志功、工藤哲巳などの多士済々の花々で展示室は、花園のイメージに彩られます。その野に世界のアートシーンの注目するアーティスト、弘前市出身、ドイツ在住の奈良美智の作り出す子どもたちが舞い降ります。展示されるのは、奈良がアメリカで最初の評価を受けることになった子どもたちや子犬のマスクを造形した一連の立体作品をはじめ、タブローなどを含めた奈良作品38点をまとめた形で展示する青森県初の機会となります。

橋本花と奈良美智。もちろん2人の芸術家は、生まれた時代も、

作風も異なります。しかし、時代の「花」として輝くばかりの才気を横溢させながら、2人が投げかける、ときにやさしく、ときに寂しげなまなざし。大正から昭和、そして大戦へという変動の時代、そして新しい世紀へと移り変わる激動の時代に生きる人々の揺れ動く心をとらえた本県出身の2人の作品は、これまで郷土を離れてありました。しかし、いま。ときを越えて、あおもりというアートのワンダーランド、不思議の土地へと帰還し、美術館のコレクションとして巡り会うのです。

立木 祥一郎

(青森県教育庁美術館整備・芸術パーク構想推進室学芸主査)

青少年を巡る悲しい事件が続発している今日。「不透明な時代だからこそ、子どもたちの夢を育み、生命の尊さを教えたい：」当館ではこの夏休み、特別企画展とし

## 「世代を超えた夢ワールド」

て「手塚治虫の世界展」を開催します。

マンガ、アニメーションというジャンルを超えて、幅広い表現活動を繰り広げた手塚治虫。生み出された数々の作品をとおして、私たちは彼の心に触れることができます。それは、常に作品の根底にある「自然への愛と生命の尊さ」ではなかったでしょうか。

本展は、マンガの発展史、アニメーションの仕組み、そして、手塚治虫の世界を広く紹介することはもちろんのこと、彼が作品をとおして私たちに伝えたかつ

たメッセージとは一体何か?に改めて迫ろうというものです。15万枚にも及ぶといわれるマンガ原稿から、特に人気の高い作品を直筆原稿によって、また、約60タイトルものアニメーションを制作している彼の数々の作品の中から、実際に使用されたセル画などによって紹介します。また、偉大な表現者・手塚治虫を育んだ環境、彼の生い立ちや、多感な少年時代を過ごした当時の兵庫県宝塚市の自然・文化などを、自作の絵画・作文を交えて紹介します。懐かしいアトムに会いに来ませんか?是非ご家族でご来館下さい。お待ちしております。



■本展のチケットから

©手塚プロダクション

## Information

- 友の会の皆様 ■ 特典どおりご入館いただけます
- 入館料 ■ 一般 ¥1,000(¥800)/学生 ¥300(¥240)/小・中学生 ¥100(¥80) ※( )内は前売券、20名以上の団体料金
- 前売券販売所■ 青森市・松木屋/弘前市・紀伊国屋書店/八戸市・三春屋/十和田市・成田本店とわだ店/七戸町・丸美屋商店

## Information

- 友の会の皆様 ■ 特典どおりご入館いただけます
- 入館料 ■ 一般 ¥500(¥400) 学生 ¥300(¥240) 小・中学生並びに特殊学校児童・生徒は無料
- ( )内は20名以上の団体料金



■「Pancake kamikaze」 奈良美智

# 美術館からお知らせ

## 「お詫び」「小倉遊亀展」開催日程の変更

友の会18号内「ユース&レポート」でもご紹介しております。鷹山宇一記念美術館平成12年度特別企画展「小倉遊亀展」は、平成13年度特別企画展として開催することとなりました。つきましては平成12年9月15日～10月15日までの日程は変更となります。新しい会期は詳細が決定のうえ、改めてご案内させていただきます。開催を心待ちにされていた皆様には、迷惑をお掛けいたしますが、どうか今しばらくお待ち下さい。

## 「椿絵名品展」北限の椿・あもり」の開催

■会期■平成12年9月30日(土)～10月29日(日)

「小倉遊亀展」の日程変更にもない、新たに秋の特別企画展として「椿絵名品展 北限の椿」を企画いたしました。この展覧会には、古くからツバキは「古事記」「日本書紀」にもその名が見られ、「万葉集」にも詠まれている。古くから多くの人々に愛されてきた日本人の心の花です。江戸時代には愛好家も増大し品種も数を増し、また、茶道の世界でも炉の花として重宝され、その存在は今日まで大きな位置を占めてきました。芸術家たちも例に洩れず、ツバキの多彩な魅力に惹かれ、この花を題材に取り上げて絵画や工芸品に美しく表現しています。本展では、日本画・洋画・工芸各界を代表する作家の「椿絵」名品をご紹介します。北限の椿咲く地で芸術の秋をお楽しみください。

### 出品作家(予定)

#### —日本画—

上村松篁  
大山忠作  
奥村土牛  
小倉遊亀  
堅山南風  
加藤東一堂  
川合玉堂  
小林古径  
高山辰雄  
竹久夢二  
堂本印象  
中島千波  
橋本明治  
福田平八郎  
堀文子  
前田青邨  
枚進  
松尾敏男  
村上華岳  
安田鞆彦  
山口華揚  
山口蓬春  
横山大観

#### —洋画—

糸園和三郎  
梅原龍三郎  
香月泰男  
岸田劉生  
熊谷守一  
児島善三郎  
五味悌二郎  
鳥海青児  
椿貞雄  
中川一政  
福井良之助

#### —工芸—

尾形光琳  
尾形乾山  
北大路魯山人

#### その他

80余点の作品で構成予定です。  
詳細は次号でご紹介いたします。  
どうぞお楽しみに。

## ◆ボランティアスタッフを募集します◆

『春季二科展』では、多くの会員、美術ファンの皆様のご協力をいただきました。ありがとうございました。

平成12年度特別企画展はこれからも目白押しです。多くの来館者が見込まれる企画展では、職員のみも万全に行き届かず、皆様のご協力なくして良い環境づくりはできません。『青森県/美術館』レクチャー展『手塚治虫の世界展』そして『椿絵名品展』と、どうかよろしく願いいたします。

美術館にご来館の皆さんが、気持ち良く作品に親しんでいただけるよう、美術館の環境づくり、来館者と展示作品の安全を守るお仕事です。興味のある方、詳しく知りたい方、どうぞお気軽に美術館(TEL0176-62-5858)迄お問い合わせ下さい。

基本的には、ご都合の良い日で、時間帯は、丸1日(10:00～17:00)、午前(10:00～13:00)、午後(13:00～17:00)の3パターンで、と考えておりますが、これ以外のご都合の良い時間帯でも結構です。

ご協力をよろしく願いいたします。

## ちよとと・ホツと・一息

春季二科展オープンニングセレブションにお出掛けください。二科会評議員・松田朝旭先生から、自筆のステキな絵はがきを頂戴いただきました。ここでご紹介させていただきます。



■ 絵でお見せできないのが残念

## ホームページのお知らせ

～七戸町がホームページを立ち上げました～

鷹山宇一記念美術館のコーナーも設けられています。

是非アクセスしてみてください。

アドレスは、

[www.net.pref.aomori.jp/shichinohe](http://www.net.pref.aomori.jp/shichinohe)

で七戸町のホームページへ。美術館コーナーへダイレクトなら続けて、

[/biju.html/bijutuindex.html](http://www.net.pref.aomori.jp/biju.html/bijutuindex.html)

ちよとと長いですがそれでも頑張ってくださいね。

なお、美術館へのご意見・ご要望・ご感想などは、

メールアドレス

[shichinohe30@net.pref.aomori.jp](mailto:shichinohe30@net.pref.aomori.jp)

まで、どしどしお寄せ下さい。



# 「スペイン・パリ美術紀行」に参加の皆さんからお便りが寄せられました

うれし・感激・ステキ旅行

工藤 喜代子

今回の旅行は、友達からの軽い一本の電話の誘いで決まっただけでした。

美術に対して無知、無関心、海外旅行未経験の私を決心させたのは、幼なじみの友達との誘い、そして主人の「行って来たら。」の一言で、その辺に遊びに行くような気分での返事となりました。が……

日がたち旅行も間近に迫るにつれ、13時間の飛行機の旅、そして美術館めぐりが主という旅、そして何より誘ってくれた幼なじみが行けなくなつたということで、私の心は重くなつて行きました。三人の子育ても終盤にさしかかり、今迄の

世界も大事だがもうすこし未知の世界にも目を向けたという気持ちで、自分をかき立ててくれました。

心配していた13時間の飛行機の旅も、ごはんが食べられなかつたらという心配も、御一緒していただいた皆さんのおかげで、全然ありませんでした。そして何もわからなかつた美術鑑賞！「何、これ」と初めはじつくり見ることもしませんでした。が、「じつと見ていると、何か感じられるよ。」との先輩仲間達からのアドバイスを受け、普段じつくり立ちどまつて一つのものに目を向けることのないというより、せっかちでやったことのない私が、一枚の絵をじつと見ていると落ち着いた心地よさを感じることができました。何か、お

いしいものをじつくり味わって食べている気分！今迄の生活になかつた、すばらしい時の過ごし方を得ることができました。さらにす

てきな友達ができたことは本当にうれしく思います。時がたつてもお会いした時は、同じ思い出に花を咲かせることができるすばらしい種も得ました。そして、自分も絵を描いてみたいという今迄に考えられない向上心も生まれました。これまで経験したことのない、後味のいいすばらしい旅でした。私の人生観も変えてくれた旅でした。誘ってくれた幼なじみ、気持ちよく行かせてくれた家族、そして御一緒した旅の仲間達に感謝の気持ちでいっぱいです。

## 旅の思い出

奥山 雅子

遙々、遠い国スペインへガウディの作品が息づくバルセロナへ到着しました。サグラダファミリア、グ

エル公園、写真で何回も見ただ、あの風景に自分がいる喜びは何と表現したらいいかわかりません。気持ちよく出してくれた主人、留守を守ってくれた家族、従業員、みんなのために楽しい旅をしたいという気持ちが強くなりました。友の会の役員という立場上、参加して下さいました皆様

に不快な気分にならない様にと心がけたつもりでしたが多少のトラブルは旅には付き物。それでも何とか無事に帰国できました。ガイドから聞いた話……

車のこと。

バンパーはぶつかるために在るという考え。法律は破るためにあるという考え。罰金を払わない人々、スリ、ひつたくり、置き引きが多

くいること。今一番怖いのがロシアンファイアだということ。強奪の事、日本のパスポートが高く売れること。町を歩くときは、パスポートのコピーと盗まれても諦めのつくお金しか持たない事。食事のたびに買う水。ホテルの部屋に荷物を置く時はトランクの中に入れて、鍵を掛け出かける（ルームキーは当てにならない）など、つくづく日本は安全と水がタダの国だと思

いました。（この頃は、そうでもなくなつてきているという話も聞きますが……）ヨーロッパの国々の多くは二百年前からの街づくり、下水道の完備などとも見習うことが沢山在りますが、私達日本人とのモラルの違い。どちらがいいのか何とも言えませんが、子どもの時の教育が大切だと思いました。

食事のこと。ダリのアトリエをあとして入った小さなホテルのレストランの料理が美味しくて、日本から持ってきた桜の花びらの干菓子を給仕の女性にプレゼントしたら、アーモンドの花とそっくりだと喜んでくれたこと。など……

旅の思い出は沢山在りますが、人と人のふれあいの多い楽しい旅でした。

## 「お便りをお寄せ下さい」

鷹山宇一記念美術館友の会では、会員の皆様の自由なご意見・ご感想を募集し、会報にてご紹介して参りたいと思っております。思い出深い絵、大好きな絵、お薦めの、また心に残つた国内外の美術館について、そのほか友の会、美術館へのご質問やご意見・ご感想などを、800字程度で自由にお書き下さい。詳しくは事務局までお気軽にお問い合わせ下さい。

【原稿送り先】郵便番号、住所、氏名、電話番号をお書きのうえ、〒03912501 青森県上北郡七戸町 字荒内67-94 「鷹山宇一記念美術館 友の会事務局」迄

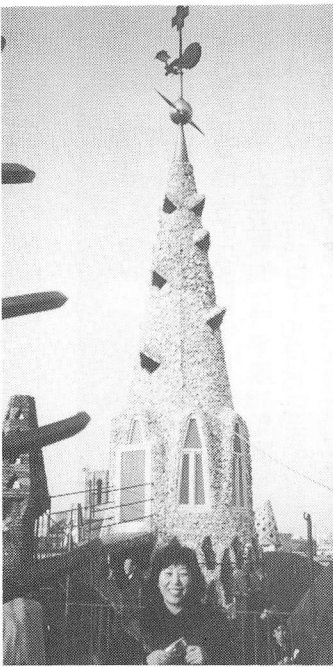
※なお、会報編集の都合上、原稿の一部修正を加えることがあります。ご了承ください。

## ◆編集後記◆

青森の6月にしては暑い毎日が続きましたがそろそろ梅雨に入りそうかなあという今日この頃。皆様いかがお過ごしでしょうか？

会報発行まだまだ遅れてしまいました。大変申し訳ございません。今度こそきちんと頑張ります。

■バルセロナのガウディ設計・グエル邸。屋上はガウディ・ワールド



■パリ・モンマルトルの丘にて。

